

令和7年度 学校評価シート（通信制まとめ）

※評価基準(4:良い、3:やや良い、2:やや悪い、1:悪い / A:4.0～、B:3.0～、C:2.0～) ⇒		自己評価				学校関係者評価		
		R7末	R7中	R6末	評価	評価	コメント	
【1】 学校運営	1	重点目標に基づいた教育活動ができるよう分掌への働きかけは適切であったか	3.2	3.0	3.3	A	各種会議の運営が適切に行われるような環境醸成に努めていきたい。また、今後「働き方改革」をさらに進めるうえで、業務分担に関するアンバランスが生じないよう校内組織の編成に配慮したい。	A (特になし)
	2	教職員の教育活動に対する取り組みへの協力は適切であったか	3.1	3.1	3.2	A		
	3	運営委員会・職員会議・課程会議の運営は適切であったか	3.2	3.1	3.6	A		
	4	校務分掌・各種委員会どうしの連携は適切であったか	3.2	3.1	3.3	A		
	5	校内組織の編成は適切であったか	3.1	2.9	3.1	A		
【2】 総務	6	年間行事予定の設定および全日制・定時制との連携が適切であったか	3.3	3.2	3.1	A	○各分掌との連絡調整に努め、相互理解による学校行事の円滑な運営 今年度は、振り返りのアンケートをさらに増やした。よりよいものにしたので応答のご協力をお願いします。今年度の記録・検証にしたい、早目の準備を行いたい。 ○危機管理意識の高揚 10月の本校での防災学習は昨年度よりはいくぶん参加者が増えた。避難訓練・防災学習とも参加者増加をはかりたい。今後も防災訓練は消防署や市役所と連携して実施し、今年度のやり方も参考にしつつ、次年度にも活かしたい。 ○円滑な情報処理と適正な情報管理及び発信 各行事（企画）が終了することに先生方に協力いただき、ホームページによる情報発信は充実してきている。必要な情報発信は、常に早目に提供できるように工夫していきたい。配信アプリも適宜活用できている。	A ・大規模災害に対応した訓練やその際のボランティアとしての活動について学んでほしい。
	7	学校行事の円滑な運営が行えたか	3.3	3.2	3.4	A		
	8	PTAおよび各種外部団体（奨学金関係を含む）との連携が適切であったか	3.3	3.3	3.3	A		
	9	危機管理体制の整備が適切であったか	3.0	3.2	3.3	B		
	10	ホームページへの記事掲載が充実していたか	3.1	3.1	3.3	A		
【3】 教務	11	生徒の学習システムの理解につながる情報発信が充実していたか	3.5	3.4	3.2	A	○計画的な学習に向けての取り組み 継続して学習の要となるバイブル「学習のてびき」を生徒自身が活用できるよう折に触れて啓発を進めていきたい。今後もICTを活用し、各科目の履修生にヒントになる資料や解説等をGoogle classroomを活用して発信したり、生徒と個々の対話を通して自学自習の助けとなるような支援の輪を広げていきたい。 ○学習内容の充実 生徒の年度末評価等から、改善の余地があることが明らかになった。生徒の意見を集約し、各教科にフィードバックすることで、より実態にあった改善を進めていく。生徒の困り感を真摯に受け止め、出来る所から改善していく。 ○協力校生徒への支援充実 協力校（特に益田）はまだまだスクーリングが落ち着かない状況にある。スクーリング開始時にルールの確認をし、安心して学べる環境づくりを行っていく。（協力校講師への周知に努める）。	A ・レポート、スクーリングに対する意見についてその意義や内容（評価基準）をよりていねいに伝えていく必要があるかと思う。
	12	レポートの管理、スクーリングの運営は適切であったか。	3.4	3.3	3.1	A		
	13	協力校との連携が適切であったか	3.3	3.0	3.0	A		
	14	教室および図書学習室の管理が適切であったか	3.5	3.4	3.3	A		
【4】 生徒	15	教職員間の共通理解に基づく生徒指導の徹底	2.5	2.9	3.1	B	○基本的な生活習慣の確立 問題の多発により、生徒指導に関する共通理解や連携の重要性を感じる。今後は今年度蓄積できたことをベースに、ブラッシュアップさせて対応していきたい。指導・支援についての研修参加への呼びかけを行うことでも共通理解を教職員間で育んでいきたい。 ○生徒理解と指導・支援の充実 ケースに応じてSSWやインクルージョンセンターなどとの連携を進めてきたが、担任との連携は足りなかったように思う。情報収集や情報共有の方法、指導における担任との役割分担など見直していきたい。 ○生徒会活動や各種行事の充実 生徒会活動等の特別活動に参加した生徒の振り返りから、生徒一人ひとりにいろいろな気づきがあったことを感じた。今年度新たに企画した「通信制感謝祭」などの行事を通して、生徒自らが企画に積極的にかかわっていきける場面を作りたい。	B ・学ぶ意欲がない生徒への対応が難しいと思います。警察との連携も必要だと思います。 ・多様な生徒がおられ、個々へのアプローチや支援は大変だと思う。生徒自身の振り返りによる気づきを大切にしていきたい、主体的な取組などから自己肯定感が高まるようSC、SSWの活用や情報共有、連携をお願いしたい。 ・生徒会の活動によって自信をつける生徒がいると感じた。
	16	担任・保健部・保護者等との連携による生徒への支援	2.8	2.8	3.3	B		
	17	生徒会を中心とした特別活動が充実していたか	3.4	3.1	3.5	A		
	18	人権・同和教育は計画的に推進されたか(推進委、たより、教職員研修等)	3.3	3.2	3.3	A		
	19	安全・安心な学校づくりのためにいじめ防止に努めたか(アンケートの実施等)	2.9	2.8	3.3	B		
【5】 進路	19	進路実現支援を目的とする各種行事の立案と実施が適切であったか	3.5	3.5	3.5	A	○他者と協働し地域社会に貢献できる人材の育成 ハローワークを介して、現在の通信制の状況について地元企業への理解を深めてもらい、地元就職の促進につながるような情報発信を行う。 特別な配慮・支援を必要とする生徒が増加傾向にあると感じている。就労移行支援事業所やセンター校などの外部機関等と連携し、生徒がスムーズに社会人として自立できるよう支援する体制を整えたい。 ○生徒一人一人が志を立てるために努力する主体的な進路実現の支援 各講座については計画通り滞りなく実施することができた。今後は講座内容の充実に向けて、関係機関としっかり打ち合わせを行い、幅広い情報から生徒がそれぞれの希望に添えるような講座の開講を目指したい。 地元での就職が多い傾向があるが、今後も地元企業・学校の資料を積極的にアピールできるように資料の提供について工夫したい。 ○生徒一人一人を大切にしたい多様な進路希望に対応する進路指導 担任と連携を取り合い、必要とする生徒が確実に模試等を受験できるよう計画したい。	A ・大学を目標にしている生徒（一般受験）についての個別対応は検討の余地があると思う。
	20	進路部作成資料の充実と生徒が閲覧しやすい環境の整備が適切に行われたか	3.5	3.3	3.2	A		
	21	他機関・団体からの情報収集と説明会等を通しての情報発信が適切に行われたか	3.5	3.3	3.4	A		
	22	年間を通じた外部講師の活用による関係機関との連携強化が適切に行われたか	3.5	3.5	3.5	A		
【6】 保健	22	健康観察・健康診断等による健康実態の把握、保健指導・健康教育の充実が行われたか	3.3	3.3	3.5	A	○生徒の心身への興味関心を喚起し、生徒が自ら学ぼうとする意欲を高める指導 4講座【性教育、食育、アロマ、心の健康教育】を外部講師を招聘して計画どおり実施し、生徒の健康への興味関心を喚起することができた。がん教育は、通信制の生徒も参加できるように期日を設定する。 ○生徒が自分の健康状態を把握するための支援 今後も要受診の生徒には、担任とも連携しながら受診の目的や必要性を丁寧に説明する等、本人・保護者に個別の働きかけを積極的に行う。 ○相談支援を通して、将来の目標が具体的に持てるようなかかわり 教育相談員、SC・SSWと継続的な面談を行い、日々の生活を立て直すことができた生徒が複数いた。今後は生徒が安定した学校生活を送ることができるよう、SC、SSW、教育相談員の計画的な活用を行う。また担任をはじめ副担任・教科担任・管理職と当該生徒に関する情報共有を丁寧に行い、全教職員で組織的に生徒の支援を行う。	A ・地域ボランティアを通じてコミュニケーションを身につけたり生き甲斐を感じる生徒がいて素晴らしいと思った。
	23	校内外の関係者との連携による支援を必要とする生徒への相談活動等が適切であったか	3.1	3.1	3.5	A		
	24	安全点検の実施と生活環境の点検・充実が適切に行われたか	3.5	3.4	3.4	A		
	26	教職員研修(衛生委員会・心肺蘇生法等)が充実して行われたか	3.4	3.3	3.3	A		
	27	(特支)生徒の実態に応じた支援や、教職員研修が充実して行われたか	3.3	3.0	3.3	A		
	28	(特支)関係諸機関との情報交換・連携、校内での情報共有が適切に行われたか	3.3	3.2	3.2	A		
【8】 ルーム	29	生徒の状況の把握と支援が適切であったか	3.0	2.9	3.1	B	週2回、生徒に関する情報共有の機会がある。スクーリング等の学習活動において気になる生徒については、家庭への状況等の報告はこまめに行った。	A ・中学校では家庭との連携が非常に難しいケース、家庭環境の厳しいケースが増加しています。 ・課程への情報提供があると保護者の評価は高まると思われる。(家庭の状況にもよるが)
	30	家庭との連携が適切であったか	3.2	2.9	3.1	A		
	31	学習進捗状況を基にした学習活動への支援が適切であったか	3.0	2.9	3.2	B		
	32	生徒の状況を把握するための情報交換が充実して行われたか	3.2	3.4	3.6	A		
	33	各分掌との連携が適切であったか	3.3	3.2	3.3	A		
【9】 事務	33	効率的・効果的な予算執行	3.3	3.3	3.4	A	予算執行等は、計画的かつ厳密に行われている。年2回の会計担当者会を開き、会計業務を確認している。また、施設・設備の補修・保全も事務部が計画的に行っている。	A (特になし)
	34	迅速・的確な施設設備の補修・保全と教育環境の整備	3.3	3.4	3.5	A		
	35	事務部と教員の円滑な連絡・調整	3.3	3.4	3.6	A		